

## 高齢者等移動支援事業（定額乗合タクシー）の実証実験について

### 1 背景

本市では、N-バス、名鉄バス及びリニモにより、公共交通の利便性の向上を図ってきたが、バス停まで移動できない高齢者等や運転免許返納者の移動のニーズに対応できない課題が表面化してきており、将来を見据えて高齢者等の新しい移動支援の取組が求められている。

### 2 目的

「赤あったかあど」保有者（満65歳以上及び満12歳以上で障がい者手帳をお持ちの方）を対象に、実験的にドアトゥドアの市内移動支援を行い、高齢者等の移動ニーズを把握するとともに、既存の公共交通への影響を検証し、高齢者等の外出を促進するための新しい移動手段の確保を検討する材料とする。

### 3 事業の概要

タクシー事業者に業務を委託し、定額乗合方式による市内限定の移動を容易に実現するための実証実験である。

「赤あったかあど」を提示して乗合タクシーに乗車する。複数の利用者が申し込んでも、各々が目的地まで最適経路で乗り合えることができる。

### 4 実証実験

- (1) 実施時期：平成30年9月～10月（2か月間）
- (2) 利用可能時間帯：午前7時45分～午後4時15分（平日のみ）
- (3) 対象者：「赤あったかあど」保有者。（随時発行可能）
- (4) 利用方法：「赤あったかあど」提示（乗車時）
- (5) 利用可能エリア：市内全域
- (6) 定額料金：500円／1人・1回
- (7) 支払方法：現金、クレジットカード
- (8) 借上車両：セダン型タクシー1台、ジャンボタクシー2台
- (9) その他：乗車中にアンケートに回答すること。

### 5 コスト

	セダン型1台	ジャンボ2台	計
同時乗車可能人数	3人	9人×2台	21人
借上費用	450,000円/月	525,000円/月×2	1,500,000円/月
システム利用料 (クラウド型配車決定システム)	50,000円/月		
2か月の総コスト	3,100,000円		

### 6 検証項目

-----運行実績による検証-----

- (1) 日ごとの利用者数及び天候
- (2) 期間中の総利用者数
- (3) 利用時間帯（どの時間帯の利用が多いか）
- (4) 利用距離
- (5) 利用実績（乗車及び降車地点の把握）
- (6) 乗合の状況

-----アンケートによる検証-----

- (7) 利用年齢
- (8) どのように当実証実験を知り得たか
- (9) 本事業及び利用料金に対する満足度
- (10) 移動目的（買い物、通院又は健康づくりのための外出なのか）
- (11) 普段利用している移動手段は何か  
（自家用車、バス、タクシー、普段外出しない等をヒアリング）

-----N-バスへの影響の検証-----

- (12) N-バス事業と定額乗合タクシー事業の棲み分けの可能性